

『うつくしま、まちづくり推進レポート』

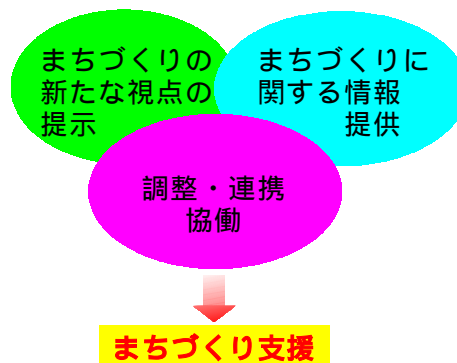
Vol.2
平成15年8月25日 発行

1 まちづくり推進グループとは

「まちづくり推進グループ」の設置目的などについては、先月号にて紹介したところですが、その体制や役割について、ここで詳しく紹介します。

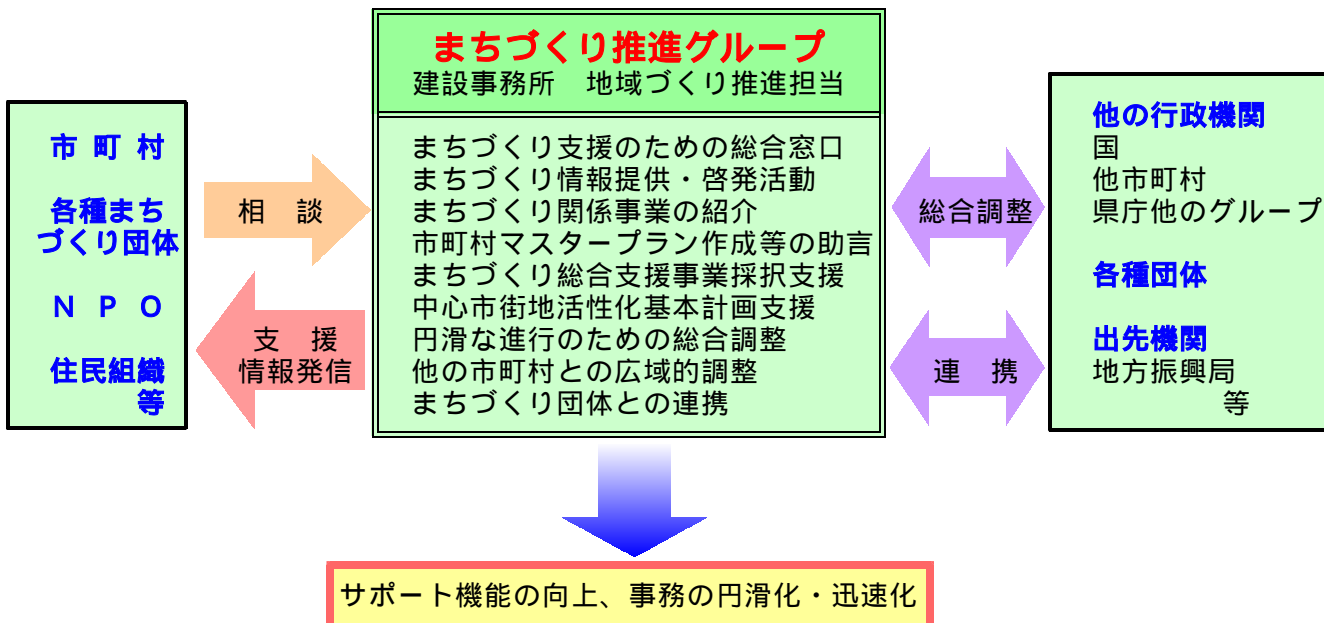
1) まちづくり推進グループの体制

まちづくり推進グループは、様々なまちづくりの相談や情報提供などのソフト面と、土地区画整理事業・まちづくり総合支援事業などのハード面の両面から市町村や各種まちづくり団体などのまちづくり支援体制をしています。



2) まちづくり推進グループの役割

まちづくり推進グループでは、地域のまちづくりについて、市町村だけでなく地域の人々とも「ともに考え、ともに作る」という視点で、まちづくり・地域づくりの各種情報の提供・共有を図るとともに、まちづくりの総合相談窓口という機能を持たせ、まちづくりのための、新しい視点の提示や支援・助言を積極的に進め、福島県のまちづくりを推進していきます。



【地域などとの協働】

まちづくり推進グループは、そこに住む人々と密接な関係を持つ市町村や各種まちづくり団体、NPOなどと協働し、**地域が中心の地域のためのまちづくり**のために様々な支援を行います。

また、本庁の他のグループや出先機関などと連携を取りながら、**ふるさと（地域）再発見 地域の資源活用情報発信 地域の活性化・発展 地方の自立・自治**という主に4つの段階においてまちづくりに取り組んでいきます。

2 『まちづくり総合支援事業』の概要

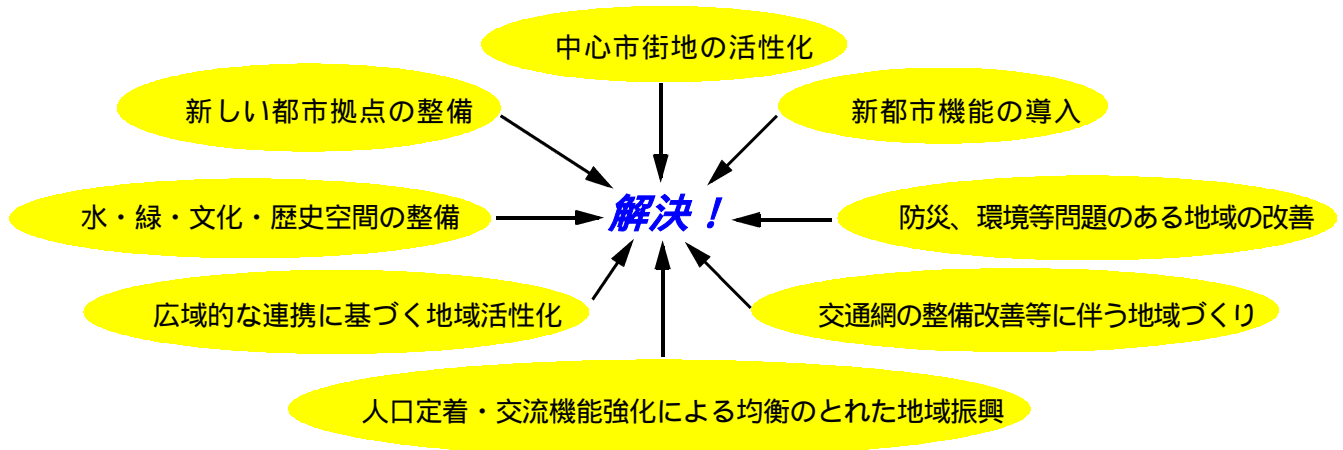
地域のニーズや地域の実情に応じたさまざまな課題に対して、地域に密着した存在である市町村が地域の将来像を企画し、創意工夫を持って実現に取り組むことが近年大いに期待されています。

このような背景のもと、**市町村による、地域が主役の個性豊かなまちづくり、一体的なまちづくり**を積極的に推進する目的で導入された国庫補助制度が**「まちづくり総合支援事業」**です。

1) 地域の抱える特定重要課題

まちづくり総合支援事業は、以下に示す8種類の**「地域の抱える課題」**を解決するために行う複数の事業を一体的に行うものです。

これらの課題解決のために、**どのような事業を組み合わせるかがまちづくりに取り組むかが地域の創意工夫を発揮するポイント**となります。



2) 要素事業の種類

まちづくり総合支援事業は多彩な補助メニューがあり、それら個々の事業を**「要素事業」**といい、要素事業ごとに採択要件と補助対象があります。要素事業は道路、河川はもとより、ソフト事業のまちづくり活動推進事業など多岐にわたっています。

補助率については、**従来事業の補助率が適用**されます。

要素事業と補助対象

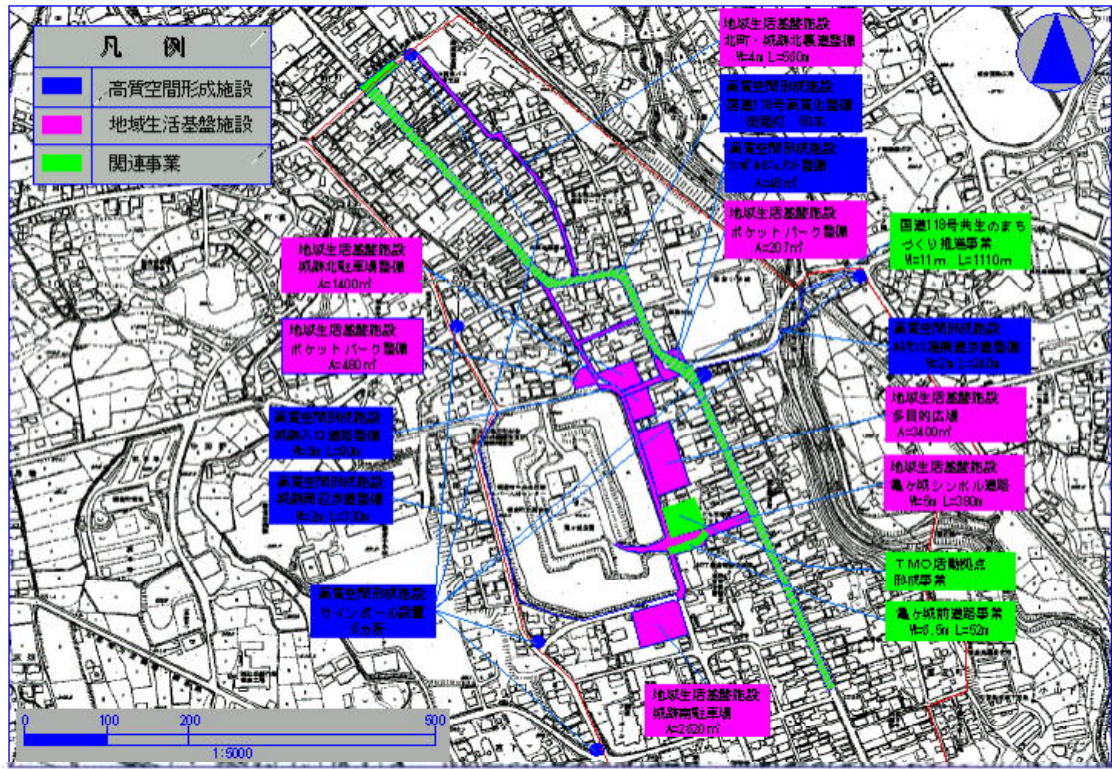
要素事業		補助対象
ソフト事業	事業活用調査	特定の地区におけるまちづくり総合支援事業の活用等に関する調査
	まちづくり活動推進事業	啓発・研修活動、専門家の派遣、情報収集・提供活動、社会実験等のまちづくり活動の推進に関する事業
施設整備	道路	街路事業、地方道事業と同じ
	公園	都市公園事業と同じ
	下水道	下水道事業と同じ
	河川	河川事業と同じ
	共同駐車場	土地の所有者、地上権者等が共同して整備する駐車場であって、一般の用に供するもの
	駐車場有効利用システム	専用駐車場の一般開放を行うためのシステム及び一般公共の用に供する複数の駐車場の統合運用を行うためのシステム
	地域生活基盤施設	地区公共施設、駐車場、駐輪場、多目的広場、公開空地、情報板、荷物共同集配施設、地域防災施設 など
	高質空間形成施設	修景施設、電線類地下埋設、歩行支援施設、障害者誘導施設 など
	高次都市施設	人工地盤、地域交流センター、複合交通センター、高度情報センター など
	既存建造物活用事業	地域生活基盤施設、高質空間形成施設及び高次都市施設における各施設
備	都市再生交通拠点整備施設	都市再生交通拠点整備事業と同じ
	人にやさしいまちづくり事業	人にやさしいまちづくり事業の移動システム等整備事業と同じ
	優良建築物等整備事業	優良建築物等整備事業と同じ
面整備	土地区画整理事業	都市再生区画整理事業（一般会計）、道路特会区画整理事業と同じ
	市街地再開発事業	市街地再開発事業（一般会計、道路特会）と同じ
	住宅街区整備事業	住宅街区整備事業（一般会計、道路特会）と同じ
	地区再開発事業	地区再開発事業と同じ

まちづくり総合支援事業では、単にまちの物的な整備だけでなく、まちづくりに関する住民意見の反映など**ソフト部分まで含めて総合的に支援するのが目的**のため、事業実施の前段階にある地区についてもまちづくり事業調査地区として**事業計画作成や、事業活用調査**なども補助の対象になります。

3) 県内の事例

【棚倉城跡周辺地区（棚倉町）】（事業年次 H15～H19）

- ・ **特定重要課題** 「中心市街地の活性化」
- ・ **事業区域面積** A = 45.5ha
- ・ **事業内容** 城跡周辺地区を中心に、ポケットパーク、多目的広場、シンボル道路などを整備し、城下町としての風情が感じられる歴史公園都市のまちづくりを目指しています。



【会津大学周辺地区（会津若松市）】

（事業年次 H12～H16）

- ・ **特定重要課題** 「人口定着・交流機能強化による均衡のとれた地域振興」
「新都市機能の導入」
- ・ **事業区域面積** A = 204ha
- ・ **事業内容** 扇町土地区画整理事業を支援すると共に、会津大学周辺において市道、ポケットパーク、歩道照明の整備を行い、学生等の歩行者の安全を確保し、文化学園地区としてふさわしいまちづくりを行っています。



【三春中心市街地地区（三春町）】

（事業年次 H14～H18）

- ・ **特定重要課題** 「人口定着・交流機能強化による均衡のとれた地域振興」
- ・ **事業区域面積** A = 203ha
- ・ **事業内容** 三春駅前広場を整備すると共に、中心市街地地区では町道、ポケットパーク、駐車場、サイン等を県施工の街路事業や「みはる舌番館」建設事業と一体的に整備を進め、魅力ある中心市街地の形成を目指しています。



3 海外のまちづくり事例 ～路面電車を活用したまちづくり（フランス）～

『車優先からトラム（現代路面電車）へ』

フランスの地方都市でも、現在の日本と同じように車社会の進展に対する対応の遅れなどにより中心市街地の空洞化が問題となっていました。

そこでフランスでは、1980年代頃から**地方分権政策と車優先の交通政策の修正（路面電車の復活）**という社会変革を行い、中心市街地の活性化に大きな成果を挙げています。

日本とフランスは他の欧米諸国に比べ社会構造に類似点が多く、まちづくりにおいても参考になることが多いといわれます。

日本とフランスの社会構造類似点

- ・中央集権的な官僚国家
- ・農業をベースとした社会構造
- ・公共事業の重要性
- ・車中心の都市政策（路面電車の撤去）
- ・郊外型のスーパーマーケットが活発な経済活動を行っている

【ストラスブール】



トラム（現代路面電車）を導入することにより、公共交通中心のまちづくりを展開し、大きな成果を挙げている。

トラムの導入により、**高齢化社会への対応（低床式）、環境への配慮（騒音、排気ガス）、安全性、街並みとの一体性による景観形成、街のにぎわい**などが期待される。

【ナント】



1985年にフランスで初めてトラムを復活させた街である。

歴史的地区の中心市街地全体を、歩行者優先道路地区にし、トラムと歩行者中心のアーバンデザインを実現している。

4 編集後記

「うつくしま、まちづくり推進レポート Vol.2」はいかがでしたでしょうか。今後も各担当者ごとの様々な視点から「まちづくり」に関する情報などを提供していきたいと思っております。

レポートの内容に関して、ご意見、ご提案、ご要望、ご質問などあれば下記連絡先までお寄せ下さい。

メールマガジン（無料）の申し込みをご希望される方は、

1. 団体会社名、2. 氏名、3. メールアドレス、4. 電話番号等（送信エラーの際のご連絡のため）よろしければ、**5. 性別、6. 年齢**を記入の上、**まちづくり推進グループのメールアドレス**まで希望する旨ご連絡下さい。**(E-mail: machizukuri@pref.fukushima.jp)**

登録された方には、レポートの更新情報などをメールにてご案内いたします。

【発行元】 福島県 土木部 都市領域 まちづくり推進グループ

電話：024-521-7510

FAX：024-521-7956

E-mail: machizukuri@pref.fukushima.jp

U R L: <http://www.pref.fukushima.jp/toshi/index.html>